

「妊産婦のメンタルヘルス」研修会

「産後うつ等の早期発見・対応に向けて」

岡山県でも「産婦健診」がまもなく始まりますが、この中で EPDS の使用が勧められています。また、産科・精神科ともに、「ハイリスク妊産婦連携指導料」の算定が可能になりました（2018 年度診療報酬改定）。本研修会では、2018 年 10 月から始まる産後の「産婦健診」の開始に向けて「エジンバラ産後うつ病質問票」の使い方などを解説します。

日時：2018 年 10 月 26 日（金） 13：30—16：30

会場：岡山大学医学部基礎医学講義実習棟 1 階 多目的講義室（鹿田キャンパス）

対象：産科・精神科・小児科医療機関の医師，助産師，看護師，保健師，精神保健福祉士等の医療従事者及び保健福祉行政職員，医療系学生，その他，関係者

目的：産後うつ等の早期発見・対応には，支援対象者を抽出し，経過観察や改善評価のために，EPDS 等の統一したツールでスクリーニングを行い，同じ視点で課題の整理や支援を行っていく必要性がある。そのため，医療従事者や保健福祉行政職員を対象として，産後うつ等と虐待リスクに関する研修を実施し，児童虐待を発見しやすい体制を整えとともに，地域の児童虐待対応力の向上を図る。

講師：淳風会 大供クリニック 近藤恭子（精神保健指定医，精神科専門医）他

内容：1) 妊産婦のメンタルヘルスについて

2) 「育児支援チェックリスト」「エジンバラ産後うつ病質問票」「赤ちゃんへの気持ち質問票」の3つの質問票の活用について

3) 産後うつ等の治療と早期支援及び虐待リスクと子どもへの支援について

4) 医療・保健・福祉機関等の多職種連携のあり方について

産婦健康診査事業が始まります。

2018 年 10 月から 県内 16 市町村で産婦健康診査が始まる予定です。

2019 年 4 月から 残りの市町村も順次開始予定です。

研修会では，資料を配付します。

ぜひ，FAX，または，メールで参加の申し込みをお願いします。

締切：2018 年 10 月 19 日（金） 締切後の参加ご希望は，ご連絡ください。

連絡先：岡山大学大学院保健学研究科

「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム事務局

Phone & FAX：086-235-6538

E-mail：josan@cc.okayama-u.ac.jp

FAX :086-235-6538

E-メール : josan@cc.okayama-u.ac.jp

岡山大学大学院保健学研究科「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム事務局あて

参加申込書

第2回「妊産婦のメンタルヘルス」研修会 「産後うつ等の早期発見・対応に向けて」

日時 : 2018年10月26日(金) 13:30-16:30

会場 : 岡山大学医学部基礎医学講義実習棟
1階 多目的講義室(鹿田キャンパス)

ご施設名 : _____

ご連絡先 : 電話 _____

メールアドレス _____

参加された方には修了証をお渡しいたします。下記に氏名・職種をご記入ください。

参加者氏名(ふりがな)	職種

※申し込み後、参加者に変更がある場合は、josan@cc.okayama-u.ac.jp または
電話・FAX :086-235-6538 までご連絡ください。

助産師実践能力習熟段階(クリニカルラダー)研修としての受講を希望される方はご連絡ください。